

予算常任委員会報告

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託されました「令和5年度能勢町一般会計補正予算(第8号)」について、3月7日に委員会を開催し予算内容を審議しました。質疑の後、賛成全員で可決すべきものと決定しました。
主な質疑応答は、次のとおりです。

問 芸術文化創造費、シアターの外壁工事の不用額について問う。

答 当初予算2980万円だったが、足場の幅の見直し、養生シートの変更で、予算を精査し、設計金額2580万円となり、落札価格が2270万円で700万円の減額となる。

問 出産・子育て応援給付金の不用額について問う。

答 前年度繰越金で大半が賄えたので、現年度分については減額した。出産応援給付金と子育て応援交付金36名の予算を組んだが、実際に出産応援給付金見込みは、21名、子育て応援給付金は19名と減少したので減額した。

問 過疎地域持続的発展特別事業の追加対象になったのはどの事業か問う。

答 基本、過疎債のソフト分で、基準財政需要額や財政力指数で決まり、能勢町の場合は3500万円となる。その額の2倍まで追加要望できることから、950万円の追加発行が認められ、協働事業交付金や、交通対策の事業費の一部に充当する。

問 産地生産基盤パワーアップ事業補助金について、経緯、詳細を問う。

答 当該企業が環境農林水産省主催の農業参入フェア2020に参加し、標高500mの気温の低さなどで、天王地域への参入の希望があり、大阪府を通じて能勢町に問い合わせがあった。環境制御ハウスの建設費総額8億8000万円の内の4億円を国が補助する。町として金銭的な支援はないが、利用可能な補助金に対して、国府に働きかけ調整を進めるなどの相談サポートを行う。

問 今後のスケジュールについて問う。

答 最短で令和6年度6月には、造成工事、建設工事に着手し、2月にハウスの竣工、3月から栽培の開始予定で進める。

問 天王地域と企業との連携について問う。

答 産業再生協議会の関係者などが連携して、産地が目指すスマート農業技術を活用した農業系の省力化や、今後の規模拡大に向けた人材育成について取り組む。スマート農業技術を用いた水稻の農業者団体と、当該企業のスマート技術を用いたトマト栽培との現状と課題などを共有しながら、その対策を検討し、同地区での水稻とトマトを合わせた販売額向上と地域の活性化に、地元の方と協働し取り組んで行く。

令和6年能勢町議会3月定例会議報告

3月4・5・6・8・21日 開催

3月定例会議には、条例17件、補正予算5件、当初予算6件、契約1件、その他1件の合計30件が提出されました。賛否が分かれた案件は4件で、その他の案件は賛成全員で可決されました。

□ 制定または改正された条例 □

◇監査委員条例の一部を改正する条例について

◇能勢町個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について

賛 否

原案可決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	大西 則宏
○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠席	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

【反対討論】 難波 希美子

マイナンバー法についてはヒューマンエラーをよく聞く。この法について不安を覚えているので反対する。

◇能勢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について